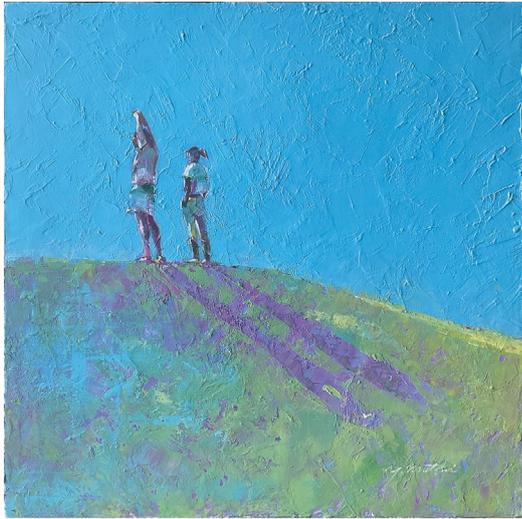


まつい由美子 Quatre saisons

2024.4.12sat-27sun



椎名内 Acrylic on canvas
S10 530/530mm



SNOW Acrylic on canvas
P15 652/00mm



イカロス
Mixed media
900/450mm



爪木崎
Acrylic on canvas
600/200mm



HEART
Mixed media
200/200mm



FISH GREEN
Mixed media
250/250mm



PERSIMON
Mixed media
F6 410/318mm

1010美術では2025年4月12日より27日まで、美術作家でアートディレクターとしても活動する、まつい由美子による横浜では約2年ぶりとなる個展、「Quatre saisons（四季）」。

本展では、いつの間にか遠くはるか彼方となる「それぞれの時間」のきらめきを、アクリル、水彩、半立体オブジェで表現した作品を展示致します。

関東では桜が終わる4月中旬、明るい日差しに、全てが輝いて見えるのは何故なのでしょう。

まつい由美子の作品は、視覚的な美しさだけでなく、時間や記憶、そして人間の感情を深く掘り下げる深いメッセージ性を持っており、観る者が特定の時間や場所にいるかのような感覚を覚えます。

懐かしい人や場所の記憶を思い起こさせる作品群は、現代の日本における風景の再解釈を通じて、文化的な価値を再確認させる役割を果たしています。

また、彼女はアートディレクターとしても活動しており、ミュージシャンや著名人への作品提供、グローバルブランドの日本におけるアートディレクションなど、多岐にわたるクリエイティブな仕事を行っています。

このようにアーティストとしての活動とインハウスクリエイターとしての役割を両立させる姿勢が、彼女の魅力の一部となっています。